



広島城北高等学校サッカー部OB会
広島市東区戸坂城山町1-3 広島城北学園内 〒732-0015
電話 082-229-0111 FAX 082-229-0112

サッカー部から学んだこと

47回生 三国建

初めまして。同志社大学政策学部1回生の三国建です。まずは、このような機会を僕に与えてくれた岩井先生に感謝します。本当にありがとうございます。では、これから僕がこの城北サッカー部で学んだ数多くの中から3つ書かせてもらいます。



一つ目は悔しさをバネに努力することの大事さを知りました。僕は高校から城北に入りました。サッカー部に入ると、もうトップチームの試合に出ている一年生がいました。それが本当に悔しくて朝練に行ったり、練習後家に帰ってから走りに行ったりもしました。それを続けた結果、トップチームの試合にも少しずつ出させてもらえるようになりました。初めての試合のときの緊張感は今でも覚えています。とても緊張しましたが、それを超える充実感がありました。それと、これまで一番悔しい思いをしたのが選手権でした。夏休みも必死に練習して選手権で結果を残すことを一心にひたむきにやっていました。また、夏合宿で同じく残った3年の仲間が大怪我を負ってしまった、準決勝か決勝までいかなと試合に出られない状況でした。だから、本当に県の決勝のピッチに立とう、そう思い選手権に臨みましたが、予選でライバル校に負けるという悔しい形で引退ということになりました。今でもその悔しさを忘れられませんが、しかし、その悔しさを無駄にせず頑張つてやろうと思ったのが受験勉強でした。僕が合格できたのは、やはりこの悔しさをバネに努力したからだと思えます。悔しさというのとは何かの糧にしないとほんとに意味がないです。

す。何か悔しく思いをしたから次の目標に向かって頑張る、そういうポジティブな人間でいなければならぬということ、サッカー部から学びました。

二つ目は、仲間との絆です。これを強く意識し始めたのは、一学年上のキャプテンの掲げたテーマからでした。「自分達の代を中心に」ということをモットーにやっていた先輩達には本当に刺激を受けました。そこから先輩達が引退して自分達の代になって、僕は副キャプテンを務めさせてもらい、その伝統を引き継ごうと思つて自分達で頑張つていこうと決意しました。しかし、そんなにうまくいくものではありませんでした。同じ学年の仲間が何人も辞める状況となつてしまつたり、仲間との仲もうまくいかなかったり、キャプテンとも言い合いを繰り返すなど全てが悪循環でサッカーも何事も上手くいかない時もありました。それでも逆に支えてくれる仲間がいてくれて、明るい先輩達にも囲まれて本当に支えられました。サッカーではいい結果が出なかつたけど、やはりこの学年でサッカーができたことはよかつたと思えます。そして仲間との絆を強く感じることができたのは、ライノスの3年生の引退試合でした。このときはチームが一つになれました。応援もよかつたですし、何よりこのときに「自分達の代を中心に」ということを強く意識できました。本気でぶつかり合えた仲間、本気で支えてくれた仲間でした。引退後にサッカー部で集まつたりすることもありますが、このサッカー部の仲間とは大人になつても付き合える仲間です。



会報誌に寄せて

21回生 伊藤 正次

みなさんこんにちは 21回生の伊藤正次と申します。私が高校生だったのは、25、6年前です。当時と比べると、学生のヘアスタイルや自転車等すっかり様変わりしてしまつています。しかし、今も変わらないのは、砂嵐やぬかるみでサッカーをするにはもつてこいとは言い難い最上段です。また、そこで今、サッカーに熱心に打ち込む後輩たちの姿は、がむしやりにボールを追いかけていた自分を思い出させてくれます。

初蹴りでは、その若き後輩たちと共にサッカーができます。現役高校生と和気あいあいとプレーをしながらも、技術的なことはもちろん、体力的な差があることに、年々、「歳」を痛感しています。私が初蹴りに十数年ぶりに参加したのは、一昨年、長男が城北中学校へ入学したことがきっかけでした。入学式では、宮本先生をはじめ、サッカー部の先輩や後輩に再会でき、話をしていくにつれ、懐かしさと部活動のなかでできた絆を感じました。現在、私は、その初蹴りで再開した後輩に誘われ、毎週日曜日の夕方、サッカーで汗を流しています。社会人でやるサッカーでは、人数が集まらず、ギリギリで試合をすることばかりで、時には苦勞する時もありますが、とても楽しく過ごしています。いつまで老体を

帰ってこられる場所

44回生 望月 慧

はじめまして。44回生の望月慧です。先日、岩井先生からOB日記の依頼を頂きました。私事ではありますが、先月我が母校城北で行った、教育実習で感じたことについて書きたいと思えます。

私は現在、関西大学の外国語学部で中学校の英語教員になることを志し、勉強に励んでいます。新生である私は、本来ならば地元の中学校に戻つて実習を行うのが普通だと思うのですが、実習先として城北を選んだのには理由があります。

まず一つは、環境です。地元が田舎ということもあり、学生時代は寮で生活していましたが、私は実習期間中、誰よりも多くの時間を生徒たちと関わりながら過ごしたいと考えていました。ですので、実習生に対しても寮を開放している城北に帰つてきたいと思いまし

にムチを打ちながら頑張れるかはわかりませんが、高校時代のライオンズマンから始まった三年間の城北サッカー部での熱い想いが続く限り頑張つていければと思つています。最後になりましたが、現役生のみなさんへ、まわりで支えている指導者の方々やご両親には常に感謝の気持ちを忘れず、頑張つてください。城北サッカー部の益々の活躍を期待しております。そしてOBのみなさん、来年の初蹴りで会いましょう。



た。また、私立ということもあり異動が少なく、高校時代お世話になつた先生方と3週間を過ごせるというところにも魅力を感じました。

そしてもう一つ、これが一番の理由です。私には、高校3年間お世話になつた先生方、特にサッカー部のスタッフの方々へ成長した姿を見せたいという思いがありました。私は高校3年間、ライノスでプレーさせて頂きました。トップには上がることができず悔しい思いもしましたが、サッカーではなかなか輝くことが出来ませんでした。しかし、自分は大学生活でこんなことを学び、こんなことが出来るようになった、そんな成長した姿を見て頂きたかったのです。と言いつつも、宮本先生、岩井先生が見学してくださつた授業はなかなかうまく進めることが出来ず、悔しい思いをしました。笑

としても、実習生の中では誰よりもアツく、そして笑顔で実習を乗り切ることが出来たという自信もあります。それが出来たのも、サッカー部で最後まで諦めずに頑張り続けたという経験が大きいと思います。

現役生の皆さん、城北サッカー部は心からアツくなれる場所です。ふてくされそうになつたり、心が折れそうになることもたくさん起こると思います。だけどそんな経験が今後の自分に繋がるのは間違いありません。「今」に全力を懸けてください!



脈略のない文章になってしまいました。こんな私を快く実習生として受け入れて頂いた城北の先生方、ありがとうございます。城北という、帰ってこられる場所があることを誇りに思います。

### 今年の「目標」

広島城北高校サッカー部OB会長

19回生 吉川 英司

正月の初蹴からあつという間に半年。ロンドンオリンピック最終予選V.S.ヨルダン戦を観る為に金曜日会社の仕事をほぼほどに「早帰り敢行」しテレビ観戦。結果はなんと6・0の完勝でした。サッカー好きのOBの皆様も全国・海外のそれぞれの場所での応援さぞかし熱が入った事でしょう。我々の時代とは違い、海外組の「余裕・自信」は本当に安心して観る事が出来、「うまいっ!」とついつい言葉を発してしまうのは、私だけでしょうか?とにたく皆で応援しましょう。

先月、我々現役時代に顧問として大変お世話になった「武田先生」の定年退職の「慰労会」に出席しました。皆さんもご存じの通り、武田先生からサッカーの戦術を教えてもらった生徒は???はい。その通りです。数学のプラカでしたが、サッカーは素人以下でした。にもかかわらず、長年この城北サッカー部を引っ張り続けてくれた理由は・・・この会でまたまたみなほ酔っ払い状態の中で最後に言われた武田先生の言葉、「本当の教師の仕事とは、勉強を教えるのではなく「人として教える事」だと。」それで納得。

現在、チーム運営を率いる、宮本監督をは

じめスタッフがここまで育つた理由が少し解った気がしました。お疲れ様でした、武田先生。正月の初蹴りお待ちしております。

今回、現役は残念ながら「高校総体」2回戦で、瀬戸内に負けました。誰でも一生懸命練習してると思いますが、他校も頑張っています。私自身、6/10(日)の予定空けていたのですが・・・残念です。是非、選手権の決勝あたり「帰ってこい!」と誘ってくれるのを待っています。ここで、プライベートな私の個人的な今年の「目標」を皆様にご披露します。今年の2月ですが、初めてフルマラソンに挑戦しました。(泉州国際市民マラソン)。言い訳がましいですが、エントリーしたのは会社の部下が勝手に振込入金処理もした後の事後報告をもらったもの。結局会社の支店のメンバーと代理店さん合わせて約15名でエントリー。この大会、エントリー後聞いたのが5KM・10KMと小刻みに制限時間が決まっております。通過しないと、回収パスで回収されてしまうというものでした。トータル制限時間も5時間以内。練習もほとんどに、当日ラン開始。さすがに現役時代、一応全国大会への経験もあるので多少は自信ありましたが、思い知る結果となりました。しかも、なめていたため、フットサルシューズで参戦。確かに、20KMまでは余裕ありでラン行きましたが、25KM過ぎたあたりから下半身が他人のものとなりはじめ、30KMの制限時間2時間50分を通過した直後、ぼったり足が動かさずフルマラソン初挑戦は31KMでストップという「ほろ苦い挑戦」となってしまうました。もうお分かりでしょう。今年の「目標」はフルマラソンの完走です。この年にもなつて、「自分の戦い」か〜と自身を奮い立たせている今日この頃です。このOB会報を手にした皆様。思っている事は即今から開始です。誰も背中押してくれませんが、興味ある方は、いつか「ハワイホノルラマラソン」挑戦しませんか?この続きは来年度正月「最上段グラウンド」では、全国にいるOBの皆様、来年1月3日「最上段グラウンド」で気持ちのよい新年を迎えましょう。



PS.. 岡光さん、先輩OBの皆様約束通りお待ちしております。

## QPONのひとり言

### 繋がり

サッカー部OB会で、先輩方にお会いすると「おっ 宮本」「元気か」「もう少しやの〜」「頑張れや」... すぐに声をかけていただく

先日のバレー部の県総体決勝の会場でも同級生や先輩方に声をかけていただいた

そんな繋がりを大切に生きていきたい

昨年の夏休みに学校主催で“SPORTS DAY”というイベントにサッカー部も参加し、サッカー部員が小学生を指導した。今春、その中から5人が入学しサッカー部に入部した

今年は、5月から“サッカースクール”として週一回、サッカー部員による小学生の指導を行っている

現役部員たちがOBとして帰ってきた時指導した小学生と最上段で再会できたらどんなに、すばらしいだろう

世界から最上段に! 最上段から世界へ!



広島城北高校サッカー部監督 宮本 誠 (19回生)

## 近況報告

みなさんこんにちは! 24回生の岩井竜彦です。

先日の5月12日に、サッカー部OB会主催で、この春に退職なさった元サッカー部顧問、武田和行先生の慰労会を開催いたしました。

広島城北サッカー部の父・岡光さん、田辺先生、井上先生をはじめ、たくさんの方々にお集まりいただき、武田先生の功績を賑やかに労うことができました

恩師のみなさまやOB諸先輩方と楽しい時間を過ごす中で、我々スタッフにもたくさんの激励の言葉をいただき、現役チームへの期待と応援に感謝するとともに、その責任の重さをひしひしと実感しました。

みなさまによい報告ができ、またたくさんの笑顔が生まれるよう、これからも日々しっかりと積み上げていこうと思います。

武田先生、本当にありがとうございました。

OBのみなさま、これからも熱いご声援をよろしく願いたします!



広島城北高校サッカー部コーチ 岩井 竜彦 (24回生)